

高崎市街地から榛名山麓を抜け、旧倉渕村の権田交差点から県道 54 号長野原倉渕線へ入ります。そこから山あいの道を進み、次々と現れる約 70 ものカーブを上りつめたところが「二度上峠（にどあげとうげ）」です。標高約 1,380m、高崎市と長野原町の境に位置する峠で、倉渕側から登ってくると、峠を越えた瞬間、それまで山林に遮られていた視界が一気に開けます。

正面左に堂々とそびえるのは、標高 2,568m の浅間山です。その裾野には北軽井沢を中心とする浅間高原がゆったりと広がり、まさに高原への入口を実感させる眺めです。写真では、朝の澄んだ青空の下、浅間山から右へなだらかに連なる山々と、深い緑に覆われた高原が遠くまで見渡せます。浅間山は現在も活動を続ける活火山ですが、こうして二度上峠から眺める姿は雄大で、均整のとれた山容がひととき印象的です。

さらに浅間山からずっと右へ目を移すと、群馬・長野県境にそびえる秀峰、四阿山（あずまやさん、標高 2,354 m）が見えます。四阿山も浅間山と並ぶ日本百名山の一座です。空気の澄んだ晴天の日には、浅間山と四阿山の間、そのはるか彼方に北アルプスの連嶺まで望むことができ、二度上峠は北軽井沢への道中でも屈指の展望地点です。

この夏の北軽井沢は天気の悪い日が多く、気温も低めで、浅間山がすっきりと姿を現した日は数えるほどしかありませんでした。それだけに、この朝、峠を越えた途端に現れた青空と浅間山、そして緑豊かな浅間高原の風景は実に新鮮でした。何度も通っている道でありながら、思わず車を止めて眺めたくなる、初秋の高原らしい爽快な朝の一景でした。

(2026 年 8 月下旬／群馬県二度上峠)

